

わたしは、

あつく、あたたかく  
ありたい。

高

松市の高校を卒業後、進学で大阪へ移り、就職がきっかけで小豆島にやってきました。大学で食について学び、食品関係で商品開発の仕事に就きたいという希望を今の職場でかなえました。仕事の他に課外活動として経営を学ぶ「中川塾」を受講しています。塾を通して参加し

たイベント「佃煮坂46」は、PRの方法やブース運営の面でも勉強になりました。他にも島の食の魅力を発信する「島めしフェスティバル」の運営に携わっています。今は仕事と中川塾などの課外活動が暮らしの中心。まだまだ知られていない島の魅力を外へ発信して、盛り上げていきたいです。



島の魅力を多くの人に  
知ってもらいたい

タケサンフーズ株式会社 企画開発部  
中野杏菜さん



自分の人生  
自分で舵を取る

漁師・YouTuber  
濱田祐輔さん



一人で船を操り漁に出る濱田さん。漁師として至福の時は自分で釣った魚を自分でさばりて食べる時。

漁

師の家に生まれ、物心がついた頃から魚に触れていました。漁師として、普段は主にサワラやマナガツオを捕る流し刺網漁で、冬は海苔の養殖を営んでいます。今、力を入れて取り組んでいるのがYouTubeでの動画配信で、小豆島の案内や水産業の魅力をアップしています。漁よりも一生懸命かな(笑)。動画の発信力や影



仕事では試作を繰り返しながら新しい商品を開発。自身がメニュー開発し、販売されている商品も。

響力を利用して、わたしたちのような若い漁師の声を届けていきたい。子どもたちに魚のおいしさを知ってもらいたくて、魚食の推進にも取り組んでいます。漁師という職業を通して、人生の舵を自分で取っていきたい。島の水産加工業に付加価値を与えて、みんなが潤えるように漁業を振興させたいんです。